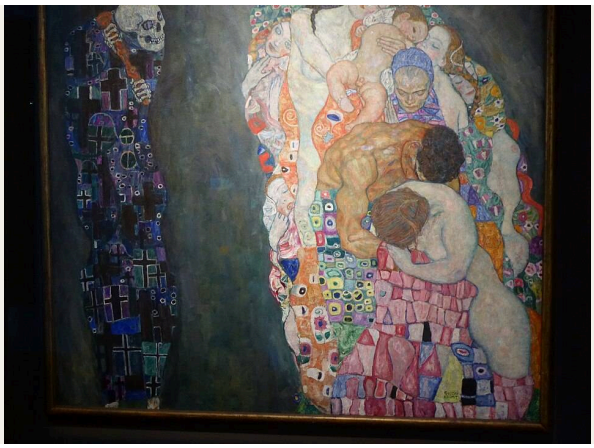
ウィーン, オーストリア

レオポルド美術館: 名作

シーレ、クリムト、ゲルストル、コリントらの作品——ウィーンのレオポルド美術館のコレクションから二十点。

AI翻訳を使用



ウィーンのレオポルド美術館は、1900年前後のオーストリア美術の主要なコレクションの一つを所蔵しています。とりわけエゴン・シーレと深い関わりを持つ美術館ですが、グスタフ・クリムトや同時代の画家たちによる重要な絵画や紙を支持体とする作品も収蔵しています。彼らは文化的な世界を共有しながらも、同じ様式をとっていたわけではありません。

ここに選んだ二十点で最も多くを占めるのはシーレで、肖像、自画像、子どもを連れた母親、木々、川沿いの町が含まれます。クリムトの作品は《死と生》と池の風景画です。さらに、リヒャルト・ゲルストルとロヴィス・コリントによる肖像画と風景画、アントン・ファイスタウアーの食器などが並ぶ食卓、アルビン・エッガー＝リエンツの死の舞踏、マックス・リーバーマンの農家の庭が加わります。同じ主題が、まったく異なる画家の手で描かれていることもあります。死はクリムトとエッガー＝リエンツの両者に登場し、シーレの肖像画はゲルストルやコリントのものと並べると、大きく異なって見えます。また、シーレの作品には二つの題名を持つものがいくつかあり、二つ目が一つ目と必ずしも一致しているとは限りません。

Artlineは、美術館とは独立に、レオポルド美術館の記録にある所蔵品からこれらの作品を選びました。年代と作者の帰属は、不確実性などの留保も含め、リンク先の記録に従っています。

アートラインでこのセレクションをご覧ください

選定された作品を、同時代の書籍や出来事と並べてご覧いただけるほか、アーティストの生きた時代を比較することも可能です。ここで紹介する書籍や出来事は、あくまで背景情報を示すものであり、直接的な影響の証拠ではありません。制作年代が特定されていない作品も、本ガイドに含まれています。

文脈の中の芸術作品　誰がいつ生きたのか?

artlines.org/guides/leopold-museum

作品一覧・20

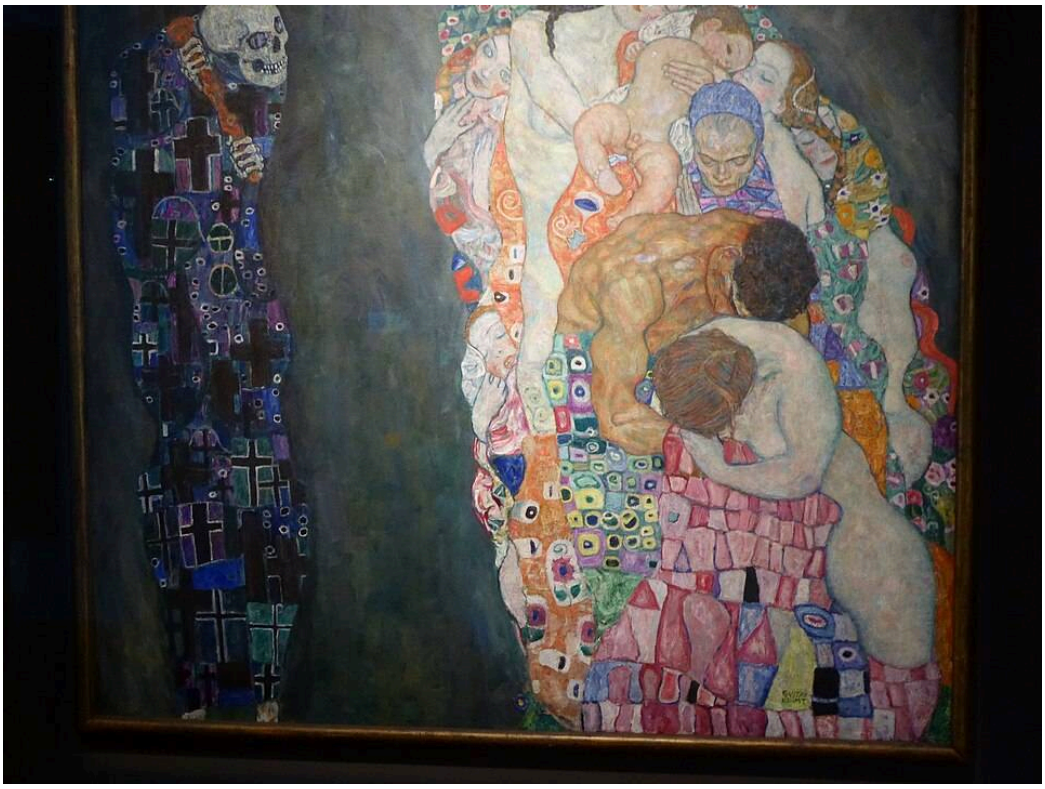
1. Death and Life
   Gustav Klimt · 1910/11、1912/13および1915/16に加筆・改作
2. Portrait of Wally
   Egon Schiele · 1912
3. Mother with Two Children II
   Egon Schiele · 1915
4. Seated Male Nude, Self-Portrait
   Egon Schiele · 1910
5. Self-Portrait with Bare Shoulder
   Egon Schiele · 1912
6. A Morning by the Pond
   Gustav Klimt · 1899
7. Cardinal and Nun, Caress
   Egon Schiele · 1912
8. Krumau on the VItava, The Small Town IV
   Egon Schiele · 1913–1914
9. Covered Table
   Anton Faistauer · 1916
10. Danse Macabre, Version IV
    Albin Egger-Lienz · 1915
11. Farm in Barbizon
    Max Liebermann · 1874
12. Autumn Tree in Stirred Air, Winter Tree
    Egon Schiele · 1912
13. Lake Traun with the Sleeping Greek Woman Mountain
    Richard Gerstl · 1907
14. Landscape at the Walchensee
    Lovis Corinth · 1923
15. Setting Sun
    Egon Schiele · 1913
16. Alfred Kuhn
    Lovis Corinth · 1923
17. The Lyricist
    Egon Schiele · 1911
18. Henryka Cohn
    Richard Gerstl · 1908
19. Blind Mother, The Mother
    Egon Schiele · 1914
20. Sunny Meadow with Fruit Trees
    Richard Gerstl · 1908年頃

01 / 20

Death and Life

Gustav Klimt

1910/11、1912/13および1915/16に加筆・改作 · Leopold Museum



Gustav Klimt. Death and Life. Image credit: Ardfern; Own work. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Leopold_Museum,_Vienna,_September_2018_(05).jpg. CC BY-SA 4.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 4.0

クリムトはこの絵を描いたままにはしませんでした。最初に制作した後、二度にわたって手を加えています。画面の片側には、十字の模様をまとった暗い死の姿が離れて立ち、人生のさまざまな段階にある人々の密集した一群を見つめています。模様のある衣服は互いにつながり、明るい、ほとんど途切れのない塊をなしています。そのため、生きる人々は、孤独な見張り手と向き合う、一つのひしめき合う身体のようにも見えます。生命のはかなさという主題は十分になじみ深く、この絵を見るのに複雑な象徴の解読はほとんど必要ありません。クリムトはまた、見る者と見られる者を結ぶ物語も示していません。両者を並べ、その対比をあからさまなままにしています。

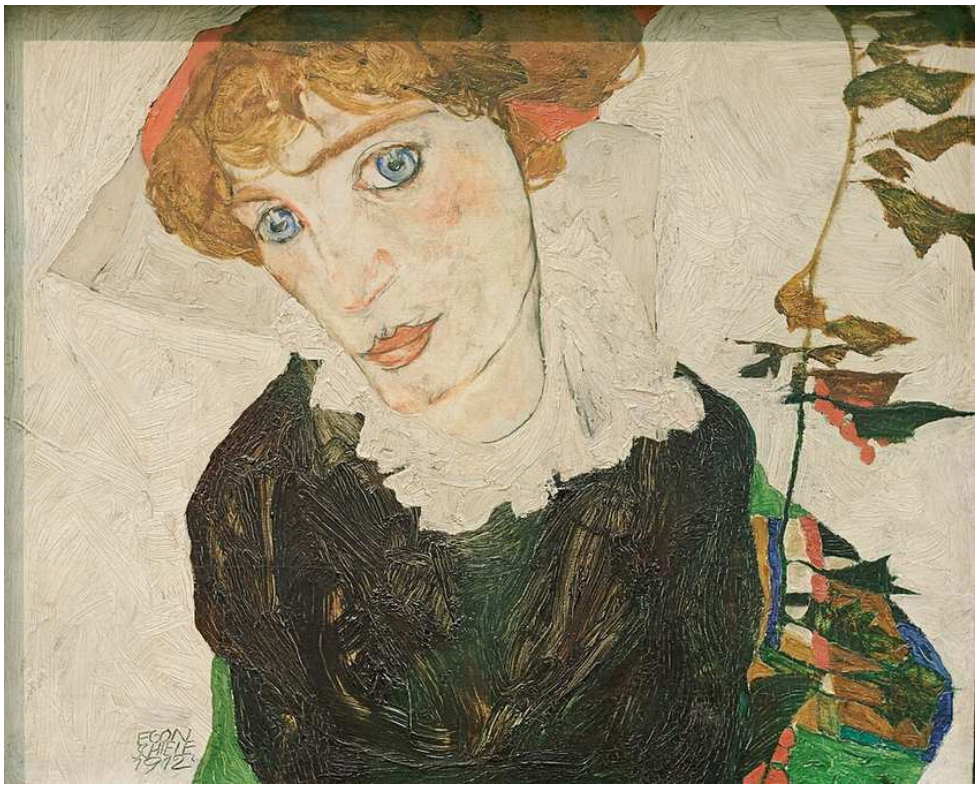
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 630

02 / 20

Portrait of Wally

Egon Schiele

1912 · Leopold Museum



Egon Schiele. Portrait of Wally. Image credit: Egon Schiele; Own work; Photographic credit: Yelkrokoyade. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Portrait_of_Wally_Neuzil_Egon_Schiele_1912.jpg. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 3.0

シーレは細部の描写を頭部に集中させています。赤い髪、青い目、淡い色の襟。衣服と周囲にはわずかに筆が加えられるだけで、その簡素さが顔の周りにくっきりとした枠をつくります。頭は傾いていますが、視線はこちらをまっすぐに見据えています。そのため、改まった正面向きの肖像画に比べると、この対面にはいくらか角度がついています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 453

03 / 20

Mother with Two Children II

Egon Schiele

1915 · Leopold Museum



Egon Schiele. Mother with Two Children II. Image credit: Egon Schiele; Own work; Photographic credit: Yelkrokoyade. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mother_with_two_children_II_Egon_Schiele_1915.jpg. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 3.0

母親と二人の子どもは、幅の狭い一群のなかで重なり合っていますが、それぞれの顔は別の方向を向いています。このような人物群なら、輪郭が和らぎ、一つの形にまとまると思うかもしれません。しかし、シーレの角張った境界線がそれを妨げています。どれほど密着していても、どの人物も自分の輪郭を失いません。

作品情報の出典 · 作品を開く

04 / 20

Seated Male Nude, Self-Portrait

Egon Schiele

1910 · Leopold Museum



Egon Schiele. Seated Male Nude (Self-Portrait). Image credit: Egon Schiele; Own work , Yelkrokoyade , 2012-07-13 12:27:42. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Seated_male_nude_(Self-Portrait)_Egon_Schiele_1910.jpg. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 3.0

シーレはほとんど何もない背景に、腕を上げ、脚を伸ばした裸の自分を描いています。題名の前半だけなら、モデルを描いたどんな習作にも付けられそうです。後半は、そのモデルが画家自身であることを明かします。題名には座っているともありますが、姿勢を説明したり、体の重みを支えたりする家具や室内の描写はほとんどありません。そのため、関節の曲がりが一つひとつ際立っています。体の緊張は明白ですが、それを説明する舞台設定も、苦しみの物語もありません。

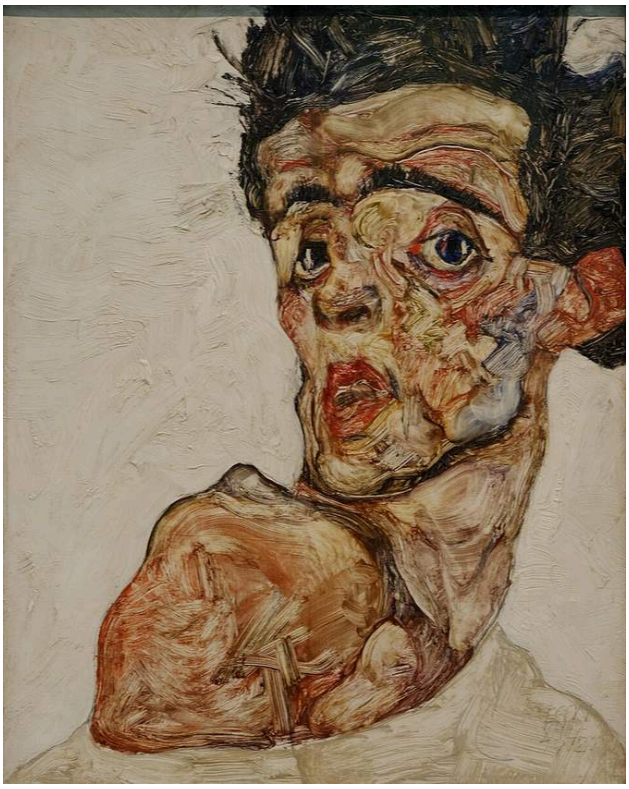
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: Inv. 465

05 / 20

Self-Portrait with Bare Shoulder

Egon Schiele

1912 · Leopold Museum



Egon Schiele. Self-Portrait with Bare Shoulder. Image credit: Egon Schiele; Own work , Yelkrokoyade , 2012-07-13 12:21:57. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Self_portrait_with_raised_bare_shoulder_Egon_Schiele_1912.jpg. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 3.0

ここでは身体が片方の肩だけにまで切り詰められていますが、その肩さえ脇役には収まりません。題名が肩を特に取り上げているように、絵もまたそれを際立たせています。向きを変えた顔の下で、淡い色の肩の塊が目鼻立ちと見る者の注意を奪い合います。黒い髪と強調された輪郭線が肌の面を分断し、頭部の周りにはどこにも滑らかにつながる箇所がありません。座る裸体像よりはるかに少ない部分しか見せていませんが、それで穏やかになっているわけではありません。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: Inv.Nr 653

06 / 20

A Morning by the Pond

Gustav Klimt

1899 · Leopold Museum



Gustav Klimt. A Morning by the Pond. WikiArt: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · Public domain (WikiArt per-object label)

ここには目立つ人物も、出来事もありません。代わりにクリムトは、鮮明さの度合いを変えながら繰り返される形で画面を組み立てています。水面の映り込みは、その上の植物の配置をなぞりながら、質感を和らげています。同じ形が、水の上ではくっきりと、水の中では柔らかく、再び現れるのです。暗い岸の向こうには、より明るい遠景が、もう一つの水平な帯を加えています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 2007

07 / 20

Cardinal and Nun, Caress

Egon Schiele

1912 · Leopold Museum



Egon Schiele. Cardinal and Nun (Caress). Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

赤と暗い色の衣が急な傾斜をなす塊から、青白い顔と手が現れます。衣服は硬く、その形のために抱擁はぎこちなく見えます。まるで衣装が物理的に邪魔をしているかのようです。その衣装こそが、この絵の要点でもあります。宗教的な装束がなければ、これはほかと変わらない抱擁でしょう。装束があることで、その接触には身振りだけでは生まれない緊張が宿ります。二つの題名は、一方で役割を、もう一方で行為を示し、その両方を意識させ続けます。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 455

08 / 20

Krumau on the Vltava, The Small Town IV

Egon Schiele

1913–1914 · Leopold Museum



Egon Schiele. Krumau on the Vltava (The Small Town IV). Image credit: Egon Schiele; Own work , Yelkrokoyade , Taken in 13 July 2012, 13:30:27. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Krumau_on_the_Moldova_(Small_town_IV)_Egon_Schiele_1914.jpg. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 3.0

大きく傾いた視点のなかに、屋根、窓、狭い通路が詰め込まれています。隣り合う角度が画面を一つにまとめると同時に、その圧縮の強さを際立たせています。人間の活動はほとんど見えません。密集する形の下には、一つ目の題名にあるヴルタヴァ川が暗い帯となって流れ、画面の下端をしっかりと区切っています。二つ目の題名は地名をすっかり省き、この場所を単に《小さな町》と呼んでいます。また、数字は連作の一つであることをうかがわせます。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: 655

09 / 20

Covered Table

Anton Faistauer

1916 · Leopold Museum



Anton Faistauer · The Yorck Project (2002) 10.000 Meisterwerke der Malerei (DVD-ROM), distributed by DIRECTMEDIA Publishing GmbH. ISBN: 3936122202. · Public domain · Wikimedia Commons · Public domain

ファイスタウアーの作品は、この選集で唯一の静物画です。卓上は見る者の方へ傾き、暗い室内を背景に、食器や果物を手前へ押し出しています。画家は広い色面によって物に重みを与え、白い布がそれらを一つの傾斜した面にまとめています。椅子は、描かれていない人々の席を示しています。

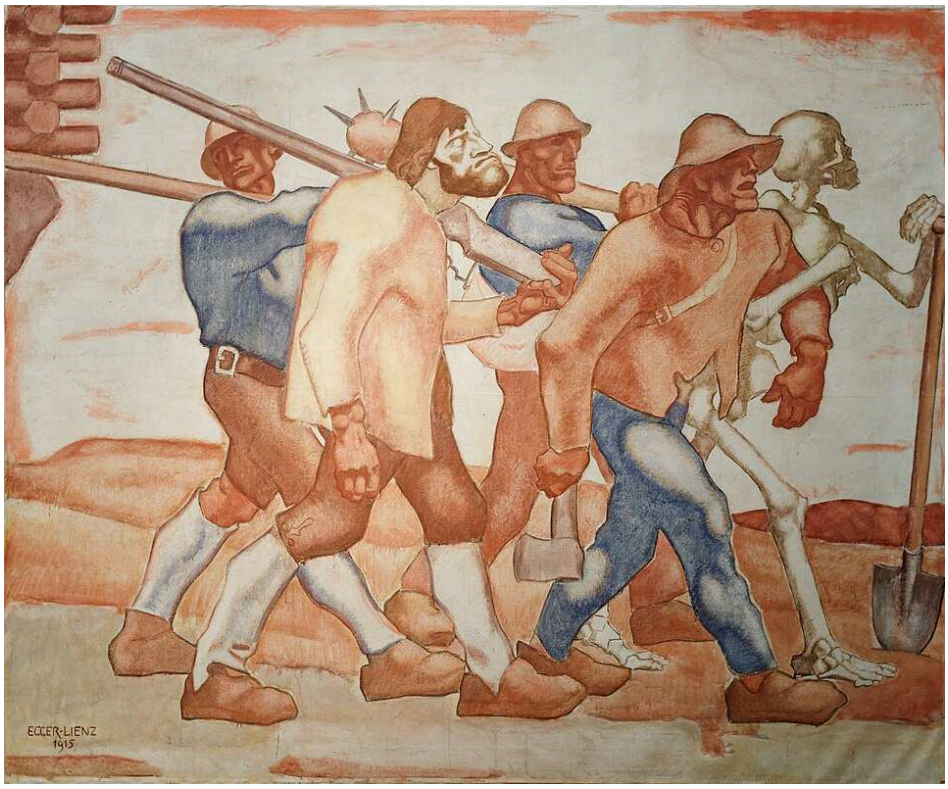
作品情報の出典 · 作品を開く

10 / 20

Danse Macabre, Version IV

Albin Egger-Lienz

1915 · Leopold Museum



Albin Egger-Lienz. Danse Macabre (version IV). Image credit: Albin Egger-Lienz; Own work , Yelkrokoyade , 2012-07-13 13:33:07. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Danse_macabre_(fourth_Version)_Albin_Egger-Lienz.jpg. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 3.0

クリムトの死は、画面の自分の側から生きる人々を見つめています。エッガー＝リエンツは、そのような距離を認めません。彼の骸骨は、道具を運ぶ男たちと歩調を合わせ、まるで行列を歩くもう一人であるかのようです。土の色調で描かれた人物から人物へ、曲げられた手足の形が繰り返されます。そこでは、個々の男が誰であるかよりも、共通のリズムが重みを持っています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: Inv. 195

11 / 20

Farm in Barbizon

Max Liebermann

1874 · Leopold Museum



Max Liebermann. Farm in Barbizon. Image credit: Derbrauni; Own work. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Max_Liebermann_-_Bauernhof_in_Barbizon.jpg. CC BY 4.0 (https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY 4.0

選ばれた作品のなかで最も早い時期の絵は、農家の庭を描いています。急勾配の屋根の下にある低い建物、数多くの明暗の変化で描かれた起伏のある地面、そして前景に散らばるガチョウです。ガチョウがいなければ、これは建物の眺めでしょう。さまざまな姿勢で点在するガチョウが、この庭が使われていることを示し、前景が静止してしまうのを防いでいます。人の活動がほとんど見えないシーレの《クルマウ》では、そこに暮らす人々を暗示する役割を家々に委ねるほかありません。

作品情報の出典 · 作品を開く

12 / 20

Autumn Tree in Stirred Air, Winter Tree

Egon Schiele

1912 · Leopold Museum



Egon Schiele. Autumn Tree in Stirred Air (Winter Tree). Image credit: Egon Schiele; Own work; Photographic credit: Yelkrokoyade. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Automn_Tree_in_Stirred_Air_(Winter_Tree)_Egon_Schiele_1912.jpg. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 3.0

秋なのか、冬なのか。二つの題名は食い違い、絵を見てもほとんど決着はつきません。枝を柔らかく覆う葉はわずかしか残っておらず、枝の方向の変化がすべて見えています。暗い地面の帯が、淡く途切れがちな背景に対して幹を支えています。その背景は、一つ目の題名にある風に動く空気なのかもしれません。下部には支えがあり、上部には関節のような分岐が繰り返され、不均一な輪郭を通して力が伝わっています。この木には、素描された身体のつながりを思わせるところがありますが、文字どおり人間であることを示すものは何もありません。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 449

13 / 20

Lake Traun with the Sleeping Greek Woman Mountain

Richard Gerstl

1907 · Leopold Museum



Richard Gerstl. Lake Traunsee with the Schlafende Griechin mountain. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

この山は「眠れるギリシャの女」と呼ばれていますが、ゲルストルの筆が描くものには、静止しているものがありません。うねる筆触が山にも空にも走り、岩と空気に同じ落ち着かない表面を与えています。それでも、細長い湖の上に広がる青緑の斜面は、描写が緩やかになりながらも塊としての存在感を保ち、どの場所かは見て取れます。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 646

14 / 20

Landscape at the Walchensee

Lovis Corinth

1923 · Leopold Museum



Lovis Corinth. Landscape at the Walchensee. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

丘の斜面、建物、湖は、依然として風景の主要な区分をなしています。しかし、斜めの筆触がそれぞれの縁を絶えず崩しており、コリントは筆の跡をならして継ぎ目のない眺望に仕上げることはありません。眺めが奥へ退いていくはずの画面上部の遠景でさえ、暗い筆跡が視線を表面にとどめます。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 109

15 / 20

Setting Sun

Egon Schiele

1913 · Leopold Museum



Egon Schiele. Setting Sun. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

夕焼けの色が眺め全体を満たし、すべてを溶け合わせてもおかしくありません。しかし、そうはなりません。細い幹と暗い枝が、陸地、水面、暖かな色の空の帯を横切っています。直立する木々は水平に広がる遠景からくっきりと分かれ、描かれた縁が、それぞれの部分がどこで終わり、次の部分がどこから始まるのかを示しています。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: 625

16 / 20

Alfred Kuhn

Lovis Corinth

1923 · Leopold Museum



Lovis Corinth. Portrait of Alfred Kuhn. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

コリントはこの肖像画をヴァルヒェン湖の風景画と同じ年に描いており、ここにも同じ斜めの筆触が見られます。その筆触はモデルの衣服から背景へと続いているため、筆遣いは男性を周囲から分ける働きをしていません。その役割を担うのは光です。明暗の対比によって、向きを変えた顔が浮かび上がります。人物には実体感がありますが、コリントはその外縁の一部を閉じずに残しています。

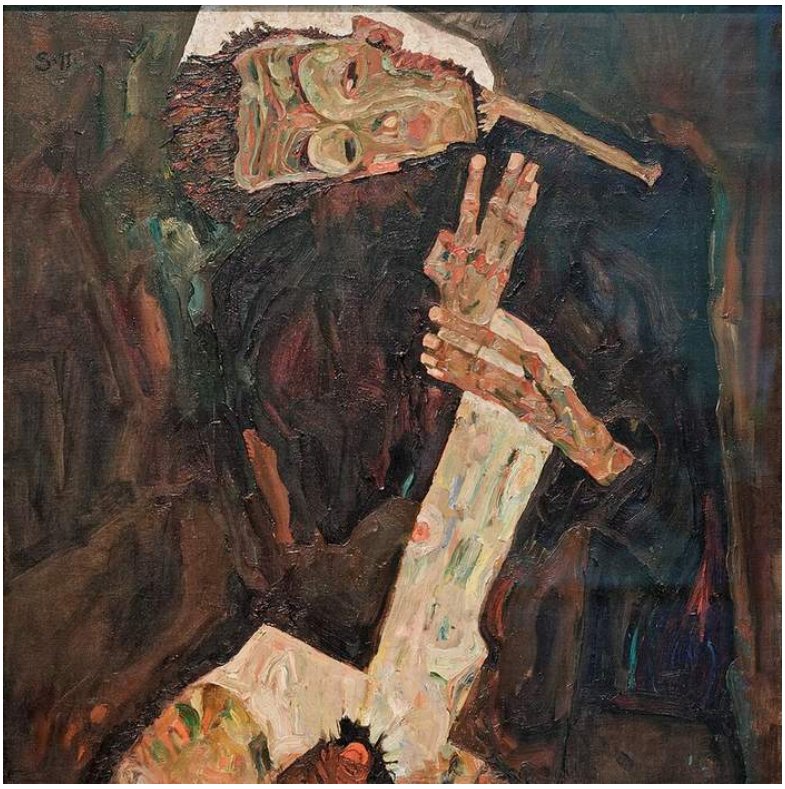
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 2091

17 / 20

The Lyricist

Egon Schiele

1911 · Leopold Museum



Egon Schiele. The Lyricist. Image credit: Yelkrokoyade; Own work. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:The_Lyricist_Egon_Schiele_1911.jpg. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 3.0

まず目を導くのは手です。広げた指が、傾いた頭の外側へと身振りを伸ばしています。色の筆跡と途切れた縁が横切る青白い肌によって、手は暗い身体から際立っています。手は、顔だけでは生まれない方向性を肖像に与えています。題名が示すのは個人ではなく役割であり、この人物も、落ち着いた肖像のために座っているというより、何かを演じているように見えます。

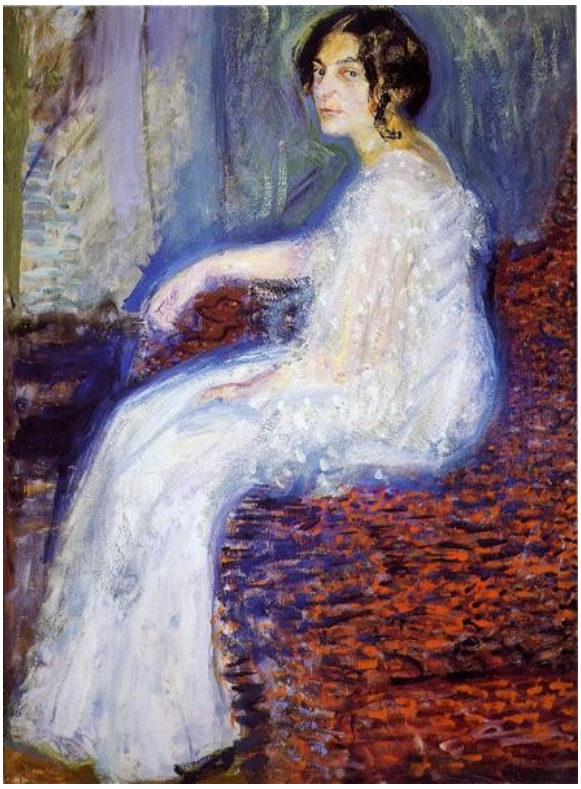
作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 450

18 / 20

Henryka Cohn

Richard Gerstl

1908 · Leopold Museum



Richard Gerstl. Portrait of Henryka Cohn. Image: WikiArt. Public domain (WikiArt label). Proportionally resized and JPEG compressed; no crop. · Public domain (WikiArt label)

シーレの《ヴァリーの肖像》では、背景は簡素なまま、顔を囲む枠となっています。ゲルストルの室内は、より積極的な役割を果たしています。冷たい青や紫が、横を向いたモデルと模様のある室内との間を行き交い、姿勢は明瞭なままでも、人物と周囲との隔たりはいくらか薄れています。淡い色のドレスは、見分けられる身体の一部であると同時に、室内に広がる色の一部でもあります。

作品情報の出典 · 作品を開く · 収蔵品番号: LM 650

19 / 20

Blind Mother, The Mother

Egon Schiele

1914 · Leopold Museum



Egon Schiele. Blind Mother, or The Mother. Image credit: Egon Schiele; Own work; Photographic credit: Yelkrokoyade. https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Blind_Mother_Egon_Schiele_1914.jpg. CC BY-SA 3.0 (https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/). Full-frame proportional resize and JPEG compression; applicable ShareAlike terms retained. · CC BY-SA 3.0

母親を盲目と呼ぶのは、二つの題名のうち一つだけです。もう一つは《母》とだけ呼んでいます。暗く、狭く囲まれた空間で、女性が子どもの上に身をかがめています。重い輪郭線が身体、衣服、家具を一つの構造に結び合わせ、それは保護するものでもありながら、窮屈でぎこちなくもあります。《二人の子どもと母親 II》では、角張った境界線が、重なり合う箇所でも人物を一人ずつ分けています。ここで輪郭線が果たす役割は逆です。与えられたわずかな空間のなかで、人物たちは互いの形に合わせて身を収め、互いを支えなければなりません。

作品情報の出典 · 作品を開く

20 / 20

Sunny Meadow with Fruit Trees

Richard Gerstl

1908年頃 · Leopold Museum



Richard Gerstl. Sunny Meadow with Fruit Trees. WikiArt: Public domain. Proportional resize and JPEG compression; no crop. · Public domain (WikiArt per-object label)

題名は日差しを予告し、実際に光の斑点が差し込んでいます。しかし、それによって密集した緑の広がりがすっきりと整った眺めになることはありません。ゲルストルは、幹と広がる枝の周りに筆触を繰り返し、その緑の面をつくっています。筆遣いは力強く、絵具は葉の茂みと同じほど強く存在を主張しています。

作品情報の出典 · 作品を開く

輪郭と筆触

これらの作品を並べると、画面を一つにまとめる方法の違いが見えてきます。シーレは、主題が何であれ輪郭を頼りにしています。輪郭は、自画像では自身の身体を形づくり、ある母親を子どもたちから分け、別の母親をその子どもに結びつけ、クルマウの屋根を組み合わせ、夕焼けの暖かな色さえ区切っています。ゲルストルとコリントは逆の方法をとり、輪郭なら固定するはずの縁を越えて筆触を走らせ、山を空へ、モデルを周囲の室内へとつなげています。クリムトはそのどちらともやや距離を置き、模様と反復から画面の表面を組み立てています。《死と生》で生きる人々がまとう衣服でも、池の映り込みでも、それは変わりません。この大まかな区分からまったく外れるのが二点です。ファイスタウアーの食卓は広い色面を、リーバーマンの農家の庭は明暗の微妙な変化を基盤としています。

関連書籍

The Practice and Science of Drawing

Harold Speed · 無料で読む · 英語

スピードの技法書は、線と塊から素描に取り組み、シーレにもそのまま当てはめやすい、輪郭を語るための実用的な語彙を示しています。スピード自身の作例はより伝統的ですが、それも役立ちます。これらの絵が作例からどのように離れているのかを、正確に言い表しやすくなるからです。

博物館のウェブサイト · 公式コレクションガイド

情報源と訪問者情報は確認済みです。: 2026-10-12

AI翻訳を使用

Artline · レオポルド美術館：名作